

新製品紹介

Happy Hacking Keyboard Professional HG JAPAN



「Happy Hacking Keyboard」(以下、HHKB) シリーズは、1996年の初代モデル発表以来、理想のキーボードを追求し、キータッチに優れた高性能なコンパクトキーボードを提供し続けて参りました。そして、この度、シリーズ発売10周年を記念し、「世界最高の打感と質感を持った究極のキーボード」を目指して製品化したのが、「HHKB Professional HG JAPAN」です。

「HHKB Professional HG JAPAN」は、静電容量無接点方式採用で優れたキータッチを誇る「HHKB Professional2」をベースに、フレームを剛性の高い削り出しアルミにすることにより、比類のない極上のキータッチを実現しました。また、キートップには、輪島塗の技法を用いた漆塗を施し^{注1)}、極上の質感と手触りを実現しました。古来より優れたコーティング剤として重用されてきた輪島塗の技術をキーボードに取り込むことにより、伝統工芸とIT技術の融合を図り、新たな価値の創造を目指しました。完全オーダーメイド、100台限定販売です。

主な特長

▶ 漆塗キートップ ▶

石川県の輪島塗工房「大徹漆器工房」のご協力を得てキートップに天日黒目製法による漆塗を施しました(図-1参照)。漆は、極上の質感を持つだけでなく、抗菌性・吸湿性・耐久性に優れており、毎日手に触れるキートップにとって最適なコーティング技術と考えます。



●図-1 キートップに漆塗を施している様子●

注1) 本来、輪島塗の素地には「木」を用いるものですが、今回は特別に大徹漆器工房のご協力を得て、PBT樹脂のキートップに「輪島塗の技法」を用いた漆塗を施しています。

無刻印(キートップに文字刻印がない)モデルのみのプロフェッショナル仕様です(商品名の「JAPAN」は英語で「漆塗」の意味を表します。)

▶ 高剛性アルミ削り出しフレーム ▶

剛性の高いアルミ削り出しフレームを採用し、極上のキータッチを実現しました。自動車のシャーシ剛性が走行性能を大きく左右するように、キーボードもフレーム剛性をアップさせることで、タイピングの力を逃すことなく、高速の打鍵もしっかりと受け止めることができ、タイピングの感触が驚くほど向上します。

アルミ筐体の外装部については、表部分はヘアライン処理を施し、裏面はクロムメッキによる鏡面仕上げを施したスタイリッシュな仕上げとなっております。また、裏面には、図-2のようにお客様のお名前をレーザー印字できます。

▶ ベストポジションへのこだわり - 傾き 8段階調整 ▶

キーボードの傾きは、約1度単位で8段階に調節可能です。六角レンチを用いて、レグのパーツを交換することにより、お客様の最適なポジションに調整できます。(六角レンチ、セットアップ用の竹製ピンセット、交換用のレグは、専用木箱に納められ標準添付されます。)



●図-2 お客様のネームのレーザー印字●

お問い合わせ先

(株)PFU PFU ダイレクト係

Tel : 0120-14-4541 FAX : 042-788-7731

E-mail : hhkb@pfu.fujitsu.com

<http://www.pfu.fujitsu.com/hhkeyboard/>